

公益社団法人 日本地下水学会
2015 年度 第6回 理事会議事録

1. 開催日時：2015 年 10月17日（土） 13:30～17:40
2. 開催場所：日本工営(株) 九段オフィス 中庭棟4階 第1中会議室
〒102-8539 東京都千代田区九段北一丁目14番6号
3. 理事総数：15 人

4. 出席理事数：14 人 ○：出席、×：欠席

理事	今村 聡	○	理事	今井 久	○
理事	小野寺 真一	○	理事	川端 淳一	○
理事	高坂 信章	○	理事	坂本 大	○
理事	白石 知成	○	理事	杉田 文	○
理事	鈴木 弘明	○	理事	竹内 真司	○
理事	谷口 真人	○	理事	徳永 朋祥	○
理事	中川 啓	×	理事	中屋 眞司	○
理事	古川 正修	○			

5. 出席監事数：2 人

監事	平山 光信	○	監事	村田 正敏	○
----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：代表理事（会長）谷口 真人

定刻に、代表理事谷口 真人 は議長席につき、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

8. 議事録作成者：理事 高坂 信章

9. 理事会資料

- 理事会資料－ 1：2015年度 第6回理事会 議事次第
- 理事会資料－ 2：2015年度 第5回理事会議事録（案）
- 理事会資料－ 3：企画委員会資料
- 理事会資料－ 4（3種）：行事委員会資料
- 理事会資料－ 5（4種）：渉外委員会資料
- 理事会資料－ 6：編集委員会資料
- 理事会資料－ 7：欠番
- 理事会資料－ 8：市民コミュニケーション委員会資料

- 理事会資料－ 9：広報・IT委員会資料
- 理事会資料－ 10（4種）：EPS委員会資料
- 理事会資料－ 11：技術者継続教育担当資料
- 理事会資料－ 12：会計委員会資料
- 理事会資料－ 13：欠番
- 理事会資料－ 14（5種）：総務委員会資料
 - 14-1：若手研究者等助成金交付規則（案）
 - 14-2：マイナンバー情報取扱い・管理規程（案）
 - 14-3：日本地下水学会細則 変更案
 - 14-4：主催・共催・協賛・後援：取扱い案
 - 14-5：入会-退会リスト
- 理事会資料－ 15：地下水学会将来構想WGメンバーリスト

【審議事項】

第1号議案：（資料-2）

- ・ 前回議事録（案）について
議事録内容に関して承認された。
ただし、同委員会の審議事項であっても審議内容が異なる場合は議案番号を分けることを確認した。総務委員会で修正する。

第2号議案：（企画：資料-3）

- ・ セミナー「東京電力福島第一原子力発電所事故による周辺水環境への影響 ー現状と課題ー」について
質疑に関しては質問票を企画委員会でとりまとめ、これに対して回答することが承認された。

第3号議案：（行事：資料-4）

- ・ 講演会における広告・展示希望者への対応について
著しく偏った政治思想がある場合などを除き、広告・展示の希望があった場合は基本的に認める方針とする。
行事委員会と市民コミュニケーション委員会で原則要件を検討し、理事会に諮ることとなった。

第4号議案：（渉外：資料-5）

- ・ JpGUからの寄付依頼について
1口3,000円の寄付依頼について他学会の動向をみながら最大3口の寄付を行うことを決定した。

第5号議案：（渉外：資料5-3）

- ・ 大型マスタープラン新規提案について
当学会からの新規提案は現段階では「無し」と回答することとした。今後の提案内容に関しては調査研究委員会にて検討を行う。

第6号議案：(広報・IT：資料9)

- ・ ホームページの「特別会員」リンク表示について
ホームページ上、特別会員リストの掲載ページに業務内容がわかるような1行広告を入れることを可とする。特別会員へのメリットを考慮したものであり、特別会員各社に案内を行う。

第7号議案：(広報・IT：資料9)

- ・ ホームページ保守管理費用の値上げについて
ホームページ保守管理を委託しているエスエムケイイノベーションから保守管理費用値上げの依頼があり、現状の作業内容を考慮して適切であるとの判断でこれを了承した。
 - 現行：月額7,500円 → 更新後：月額12,000円来年以降については、作業量を考慮して保守管理費用の見直しを行うことを確認した。

第8号議案：(男女共同参画：資料10, 総務：資料14-1)

- ・ 若手会員に対する研究支援のための助成について
 - 名称を「若手地下水研究助成」とすることが決定された。
 - 審査方法は「これまでの研究成果」に対するヒアリング審査と「今後の研究計画」に対する書類審査の2段階審査とすることが確認された。
 - 来年度の春季講演会の発表申込みに合わせて公募することを確認した。
 - 「現在、公益認定等委員会への届出手続き中」であることを明示したうえで秋季講演会にてビラを配布し予告することが了承された。
 - 今年度中に「(仮称)若手研究者等助成金交付規則」を制定し、新規事業として公益認定等委員会に変更届を提出する必要があることが確認された。

第9号議案：(会計：資料12)

- ・ 正会員 会員資格喪失処分について
3年間分の会費が未納となっている正会員3名について会員資格喪失処分とすることが承認された。

第10号議案：(会計：資料12)

- ・ 準会員 会員資格喪失処分者の対応について
前回理事会にて3年間分の会費が未納となっているため会員資格喪失処分が決定された会員より会費納入があった。会員資格喪失処分の取り消しが承認された。

第11号議案：(総務：資料14-2)

- ・ 「マイナンバー情報取扱い・管理規程(案)」について
謝金等の源泉徴収税支払の際に情報収集する必要があること、保管・管理を適切に行うこと、を確認のうえ承認された。

第12号議案：(総務：資料14-3)

- ・ 「施行細則」の変更について
 - 第3条を（会費及び会費等の使途）とし、第3条2項に「準会員、特別会員の会費および使途の定めのない寄付金については、50%以上を公益目的事業のために、残金はその他の事業および管理費用に充当するものとする。」を追加することが了承された。
 - 細則の変更履歴を明記することを確認した。
 - 第5章（常設委員会）に「男女共同参画委員会」の記述がないためこの追記案を検討し、次回理事会にて審議することとした。

第13号議案：（総務：資料14-4）

- ・ 主催・共催・協賛・後援等の取扱いについて
 - 総務作成案について共催1と共催2の区分を明確にする必要があるとの意見より、過去に依頼があり承認された団体からの再依頼については共催2の取扱いとする（それ以外は共催1とする）ことを確認したうえで承認された。
 - 総務委員会、渉外委員会にて承認した事案に対しては理事会にて報告する。
 - 以上を盛り込んだ「総務規程」を検討・制定し正式ルールとすることが確認された。

第14号議案：（総務：資料14-4，広報・IT：資料9）

- ・ 慶弔見舞金規程の変更について

慶弔見舞金規程（2012/12/15 制定）の第3条5項を以下のとおり変更することが了承され、訃報をメーリングリストにより連絡することとした。

「正会員、職員および契約職員の死亡が確認された場合にはメーリングリストによる訃報連絡を行い、会誌に訃報を掲載する。」

第15号議案：（総務：資料14-4）

- ・ 英字会員証明発給申請書および英字会員証明書の運用について

前回理事会提示案に対して特に意見はなく了承された。

第16号議案：（総務：資料14-5）

- ・ 新入会員について
 - 入会申し込みのあった新入会員（正会員：7名，準会員：1名）について承認された。
 - ホームページ上から直接入会申し込みができるシステムへの変更については保留となった。ホームページ上の入会申し込みボタンの位置を分かりやすくして欲しいという要望があった。

【報告事項等】

1. 企画委員会（資料-3）

- ・ シンポジウム「水循環基本法と地下水」（仮称）の準備状況について報告があった。水循環基本計画に基づく各省の方針が明確になるまでの間は開催を見送る方針である。
- ・ 水循環関連書籍および大学教養レベルに対応した地下水関連専門書の出版について検討を開始したことが報告された。
- ・ 「現場調査（水文調査）」講習会の開催状況（10/8～9）について報告された。参加者は14名、

収支は若干マイナスであった。参加者からは期待通りの内容と好評であった。学会誌に開催報告を掲載する予定である。

- ・ 企画委員会関連のシンポジウム，セミナーに関連した学会誌特集号の原稿収集状況について報告があった。

2. 行事委員会（資料-4）

- ・ 第 23 回汚染研究集会（2017 年）の開催準備状況について報告があった。沖縄開催について検討を行っているが，条件が厳しく他所での開催になる可能性がある。
- ・ 2016 年春季講演会は東京農工大にて 5 月 14 日（土）に開催されることが報告された。
- ・ 2015 年秋季講演会で未定となっている若手優秀講演の採点者について決定した。

3. 渉外委員会（資料-5）

- ・ 来年度秋季講演会にアリゾナ大学 Ty Ferre 教授を招へいし Darcy Lecture (ミニシンポジウム) を開催することが報告された。
- ・ JpGU において 3 セッションの提案，共催が承認されたことが報告された。JpGU での CPD 発行については当学会では対応しないこととした。
- ・ JpGU 代議員候補者として谷口会長，小野寺理事を（学会としては非公式であるが）推薦した。水関連学会にて票のとりまとめを行うため，メーリングリストで JpGU 会員に投票の呼びかけを行うことが承認された。
- ・ JpGU 学協会長会議の報告がなされた。2017 年度 JpGU 大会は AGU とジョイント開催となること，参加費が改定される予定であることが報告された。
- ・ IAH 本部より世界水会議 (WWC) の次期理事会メンバーに地下水関係者が入れるよう選挙協力の依頼があった。投票権のある組織のメンバー（資料 5-4）に呼びかけを行ってほしい。

4. 編集委員会（資料-6）

- ・ 編集委員会メンバーについて報告があった。
- ・ 既発行の 8 月号目次が紹介された。
- ・ 次号 11 月号の出版スケジュールおよび論文投稿状況が報告された。
- ・ 論文投稿数が減少傾向にあるが原因不明である。講演会での発表件数，論文投稿件数の推移を行事委員会，編集委員会にて調査するよう依頼があった。

5. 市民コミュニケーション委員会（資料-8）

- ・ 市民コミュニケーション委員会の活動実績・予定について報告があった。
- ・ 「湧水めぐり in 君津」の開催状況が報告された。10月4日開催。参加者53名。開催報告を学会誌（すぷりんぐ）に投稿する。
- ・ 湧水めぐり協力団体への謝金を寄付してほしい旨の依頼があったが，謝金として支払った。寄付をする場合の規則について他学会の事例を参照に総務，会計，事務局にて検討する。

6. 広報・IT委員会（資料-9）

- ・ 広報・IT委員会の活動状況について報告があった。

- ・ 2015年9月のHPアクセス状況について報告された。

7. 男女共同参画委員会（資料-10）

- ・ 秋季講演会初日の午前中に若手セミナーを開催することが報告された。学会誌「すぷりんぐ」に開催報告を投稿する予定であるので講演者は講演内容を数行でまとめて欲しい旨依頼があった。

8. 技術者継続教育担当（資料-11）

- ・ ジオスクリーニングネットで予定している講演会等の行事、CPD登録申請状況について報告があった。
- ・ 行事への不参加者がCPDを申請している事例があり、未承認としたことが報告された。
- ・ 秋季講演会での受講証明書の配布方法について紹介があった。当日、会場にて受講証明書を受領する。
- ・ JABEE審査員の活動状況・活動予定が報告された。
- ・ 徳永理事よりJABEE関連学会に技術士一次試験関連項目の知識項目に関し抽出するよう依頼があったこと、これに対応していることが報告された。

9. 会計委員会（資料-12）

- ・ 10/10現在の会員数および会費納入状況が報告された。
- ・ 2015年度の収支状況について報告された。
- ・ 公益認定等委員会から補正通知がありこれに対応したことが報告された。特定寄付金1,700,000円を特定資産としたこと、これにより財産目録、貸借対照表を修正したことが報告された。
- ・ 2016年度予算第一次案の検討について依頼があった。フォーマットを送付するので記入のうえ11月27日までに返信する。

10. 総務委員会（資料-14）

- ・ 学会メーリングリストを使って、他団体からのニュースレター転送依頼があっても対応しないことを確認した。要望があれば発信元アドレスの紹介を行うなどの対応を考える。
- ・ 沖縄研究奨励賞については近年地下水関連の受賞があったため、学会からの推薦は見送ることにしたことが報告された。

11. 地下水学会将来構想WG（資料-15）

- ・ 各委員会より選定いただいたメンバーについて紹介があった。
- ・ 10月13日に第1回の会合を開催した旨報告があった。
- ・ 会長ビジョンに対応したアクションプランを作成している。
- ・ 活動状況は理事会にて逐次報告する。検討結果は代議員会に提示し理事会にて承認を受ける予定。

12. 今後の予定

2015年度 第7回理事会

日時：2015年 12月5日（土） 13時30分

場所：日本工営(株) 本社仮移転先

東京都千代田区九段北 1-14-1 九段坂上 KS ビル

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は17時40分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し代表理事及び監事が次に記名押印する。

2015年 11月 10日

公益社団法人日本地下水学会 理事会

代表理事：谷口 真人



監 事：平山 光信



監 事：村田 正敏

